

学校名	熊谷市立玉井中学校
所在地	熊谷市久保島 888 番
電話	048-532-3577

1 本校の概要

本校は生徒数 443 名、学級数 15 クラス（内、特別支援学級 2 クラス）の中規模校である。学校図書館補助員が週 3 日午後から勤務しており、貸し出し業務や本の整備を担当している。また生徒との交流に努め、本についての活発な情報発信をしている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ① 図書委員会の活用→「図書室の使い方」を生徒朝会でインフォメーション
外部の積極的活用→リーフレット活用
テーマごとの働きかけ→「読書感想文」「読書週間」「読書感想画」他
「図書委員オススメ本」学級設置→蔵書活用と図書委員の意識向上
- ② 朝読書→図書委員が中心となり 10 分間集中して読書できる環境作り
購入図書選択→研究課題に即し多方面の意向を尊重した図書選択
- ③ 寄贈図書→地域の方からのご厚意
「便り」の配布→地域の理解と関心
- ④ 施設利用条件の掲示→利用日時掲示を徹底・利用可能設備を明確に
図書委員会活用→「図書室の平和を守り抜く！」今年度委員会の目標

(2) 実践の概要

委員会を活用した運営を行っている。開室日には 30 人前後が来室する。新着図書は人気があり、先を争って借りる生徒も多い。長期休み中の開室日には学習のために来室する生徒もいる。



リーフレットを活用し、朝読書開始前と長期休業前に全校生徒に配布した。図書室ではそれと関

連した本を展示し、生徒に利用を促した。また、「読書感想文募集」など、テーマごとに図書委員が掲示物を作成している。廊下など複数箇所に掲示し、それを見て「読感想画募集」に応募した生徒もいた。



「読書週間」では委員会活動として全職員に「おすすめ本を教えてください」という用紙を配る。3 年生中心に掲示物を作成し補助員と協力し該当本を整備し「図書室にあります」という吹き出しを貼る。先生方と図書室の本と関連させることで生徒の中でも話題になり、利用率が前年度より 12% 向上した。

3 成果と今後の課題

(1) 成果



図書委員が図書室から本を選び「図書委員オススメ本」として教室に設置している。朝読書時における本の活用が増加し、図書室へ関心も高まっている。

図書室掲示物を見て「図書館と県民のつどい」に参加した生徒が記念講演で作家の上橋菜穂子氏に花束を贈呈することとなり、よい体験となった。また学校便りや図書便りで全校生徒に報告されることで校外での開かれた読書活動に関心が集まった。

(2) 今後の課題

全校生徒数に対する図書室利用生徒の割合は固定化傾向にある。今後の課題として「図書室へ来室増加」を考えていかなければならない。年度末発行の「図書便り」で問題提起を予定している。また、授業内で図書室活用が少なくなってきた。生徒だけでなく先生方にも図書室の蔵書内容や資料について周知徹底してもらい図書室利用に結びつけたい。